

大使館情報

2021年12月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) ボルソナーロ政権の支持率
- (2) プレカトリオ支払に関する憲法修正案の下院通過
- (3) モーロ元法務・治安大臣の Podemos 入党及び次期大統領選挙出馬意思表示
- (4) PSDB 党内予備選挙の結果
- (5) ボルソナーロ大統領の PL 入党

[外交]

- (1) レイテ環境大臣の COP26 出席
- (2) 伯 EU 外相会談
- (3) 伯フィンランド外相会談
- (4) ボルソナーロ大統領の中東歴訪
- (5) ベニテス・パラグアイ大統領の訪伯
- (6) 伯サウジアラビア外相会談
- (7) 伯露外相会談

3. トピックス

- (1) 山田大使の「Feira do Japão」への参加
- (2) 山田大使のボルソナーロ大統領表敬

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 外務省海外安全ホームページ
- (2) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢 (11月発表の経済指標) ※GDP及び貿易収支は12月発表。

- (ア) 2021年第3四半期(7～9月)の実質GDP成長率は、前期比▲0.1%、前年同期比+4.0%となった。
- (イ) 9月の鉱工業生産指数は前月比▲0.4%、前年同月比▲3.9%となった。
- (ウ) 9月の小売売上高は前月比▲1.3%、前年同月比▲5.5%となった。
- (エ) 10月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+1.25%となり、前月(1.16%)から上昇幅は0.09%ポイント拡大した。直近12カ月累計は+10.67%となり、前月(同+10.25%)から上昇幅は0.42%ポイント拡大した。
- (オ) 全国の失業率(2021年7～9月)は12.6%となり、3か月前(4～6月)の移動平均14.2%から1.6%ポイント低下した。また前年同期比(2020年7～9月)の14.9%から2.3%ポイント低下した。
- (カ) 2021年11月の貿易収支は13.1億ドルの赤字。2021年1～11月の累計は571.9億ドルの黒字。
- (キ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査(Focus調査)について、11月26日時点で、GDP成長率予測については、2021年は4.78%(前週から0.02%ポイント低下)で、2022年は0.58%(前週から0.12%ポイント低下)となった。インフレ率については、2021年は10.15%(前週から0.03%ポイント上昇)で、2022年は5.00%(前週から0.04%ポイント上昇)となった。

(2) 経済政策等

- (ア) プレカトリオの分割払い等に係る憲法修正案について、11月4日及び9日に下院にて採決が行われ可決し上院へ送付された。
- (イ) 11月17日、政府は新たな社会保障制度アウシリオ・ブラジル(Auxilio Brasil)を通じた給付金の支給を開始した。また同25日、下院において同制度に係る暫定法案が承認され、上院へ送付された。

(3) 金融政策

次回、伯中央銀行金融政策委員会(COPOM)は12月7及び8日に開催。

(4) 為替市場

- (ア) 11月の為替市場は5.40～5.68リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.40～5.68リアル/ドルで推移。内外の金融政策の動向や、プレカトリオに係る憲法修正案の動向等を好感してリアル高傾向。
- (ウ) 月の後半は5.50～5.62リアル/ドルで推移。ブラジルの景気見通しの悪

化、米国の金融緩和縮小の前倒しを巡る議論、新変異種の感染確認等によりリアル安傾向。

(5) 株式市場

- (ア) 11月の株式市場は101,915～107,595ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は103,412～107,595ポイントで推移。企業決算やプレカトリオに係る憲法修正法案の動向等を材料に上昇傾向。
- (ウ) 月の後半は101,915～105,811で推移。ブラジルの景気見通しの悪化、原油価格の動向、米国金融政策の動向、新変異種の感染確認等を材料に下落傾向。

2. ブラジル政治情勢 (11月の出来事)

【内政】

(1) ボルソナーロ政権の支持率

11月3日、Ipespe社(XP Investimentos社委託)による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は24%(前回調査:23%)に微増し、不支持率は54%(前回調査:55%)に微減した。

(2) プレカトリオ支払に関する憲法修正案の下院通過

11月9日、連邦下院本会議にて、プレカトリオ支払(注)の延期に関する憲法修正案の第2回採決が行われ、可決された(賛成:323票、反対:172票)。この後、本PECは上院に上程される。

(注:プレカトリオは、裁判所による連邦政府に対する支払令状。本PECには、新社会保障制度「アウシリオ・ブラジル」の予算を拠出するための財源確保が見込まれている。)

(3) モーロ元法務・治安大臣のPodemos入党及び次期大統領選挙出馬意思表明

11月10日、ボルソナーロ政権で法務・治安大臣を務めたセルジオ・モーロ元判事のPodemos(民主倫理党)への入党式典が行われた。また、17日、同元法相は、TVインタビューに対し、2022年大統領選へ向けた準備が整っている旨発言した。

(4) PSDB党内予備選挙の結果

11月27日、PSDB(伯社会民主党)は、2022年大統領選挙の候補擁立に関する党内予備選挙を行ったところ、ジョアン・ドリア・サンパウロ州知事が党员票の53.99%を獲得し、1位となった。なお、2位はエドゥアルド・レイテ・リオグラ

ンデドスル州知事（44.66%）、3位はアルトゥール・ヴィルジリオ元マナウス市長（1.35%）。

（5） ボルソナーロ大統領の PL 入党

11月30日、ボルソナーロ大統領はブラジルで開催されたイベントにおいて、PL（自由党）への入党につき署名した。

【外交】

（1） レイテ環境大臣の COP26 出席

11月1日、ジョアキン・レイテ環境大臣は、グラスゴーで開催された COP26（第26回国連気候変動枠組条約締約国会議）に出席し、伯が2030年までの国内の炭素排出量削減目標を43%（対2005年比）から50%（対同年比）に引き上げることに加え、2050年までに国内における炭素中立を達成する旨の目標を発表した。

（2） 伯 EU 外相会談

11月4日、フランサ外務大臣は、訪伯中のボレル EU 外務・安全保障政策上級代表との間で会談を行った。両外相は、伯 EU 戦略的パートナーシップの再検討、EU メルコスール協力協定、伯の OECD 加盟、環境テーマ、コロナ禍後の経済復興及び地域的テーマにつき協議した。両外相は、EU メルコスール協力協定への署名及び批准へ向けた伯及び EU のコミットメントを再確認した。

（3） 伯フィンランド外相会談

11月8日、フランサ外務大臣は、訪伯中のスキナリ・フィンランド開発協力・外国貿易大臣と会談を行った。両国外相は、科学技術イノベーション、再生可能エネルギー及びサイバー安全保障にかかる協力を含む様々な二国間アジェンダにつき協議した。

（4） ボルソナーロ大統領の中東歴訪

11月12～18日、ボルソナーロ大統領は、UAE、バーレーン、カタールを訪問し、各国首脳（アブダビ首長国皇太子、バーレーン国王、カタール首長）との会談において防衛、資源・エネルギー、貿易・投資、教育、文化的交流等につき協議した。同大統領は、UAE ではドバイ EXPO2020 会場へ訪問し、バーレーンでは在マナマ伯大使館開所式に参加した。

(5) ベニテス・パラグアイ大統領の訪伯

11月24日、ボルソナーロ大統領は、訪伯中のベニテス・パラグアイ大統領と会談し、国境周辺地域の犯罪対策、インフラ、電力及び貿易・投資につき協議した。

(6) 伯サウジアラビア外相会談

11月25日、フランサ外務大臣は、訪伯中のファイサル・サウジアラビア王国外務大臣と会談を行った。両国外相は、貿易・投資、防衛、科学技術、エネルギー及び環境にかかる協力につき協議した。

(7) 伯露外相会談

11月30日、モスクワ訪問中のフランサ外務大臣は、ラブロフ露外相と会談を行った。両国外相は、二国間の政治外交対話及びBRICS、G20及び国連等の国際フォーラムにおける協力の強化につき協議し、「伯露政策協議計画 2022-2025年」に署名した。

3. トピックス

(1) 山田大使の「Feira do Japão」への参加

11月5日から11月7日の間、ブラジリアのClube do Congressoにおいて「Feira do Japão」が開催された（ブラジル中西部日伯協会連合会（FEANBRA）と在ブラジル日本国大使館の共催）。6日の開会式には山田大使の他、FEANBRAのルイス・ニシカワ会長、アンデルソン・トーレス法務・治安大臣等も出席。

在ブラジル日本国大使館は、本祭りにおいて、大使館ブースを出展し、日本文化や東京オリンピック・パラリンピック、国費留学に関する情報発信を実施。また、野原公邸料理人による和食のワークショップを実施したほか、日本酒のワークショップも開催し、山田大使も日本酒の説明を行い、大盛況のうちに終わった。



山田大使による挨拶



山田大使による日本酒のワークショップ

(2) 山田大使のボルソナーロ大統領表敬

11月11日、山田大使は、4年3か月間のブラジルにおける任期を終えるにあたり、離任挨拶のため、大統領府にてボルソナーロ大統領に迎えられた。

山田大使は、ボルソナーロ大統領が、日本の友人として、日伯二国間関係の強化に貢献したことに対して、深い謝意を示した。ボルソナーロ大統領は、日本に対して親しみを持っており、山田大使の任期中に、日伯関係が親密になったことを嬉しく思う旨述べた。

山田大使は日本に帰国した後も、ブラジルの友人として、日伯関係のために貢献していく。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第2四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(2) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

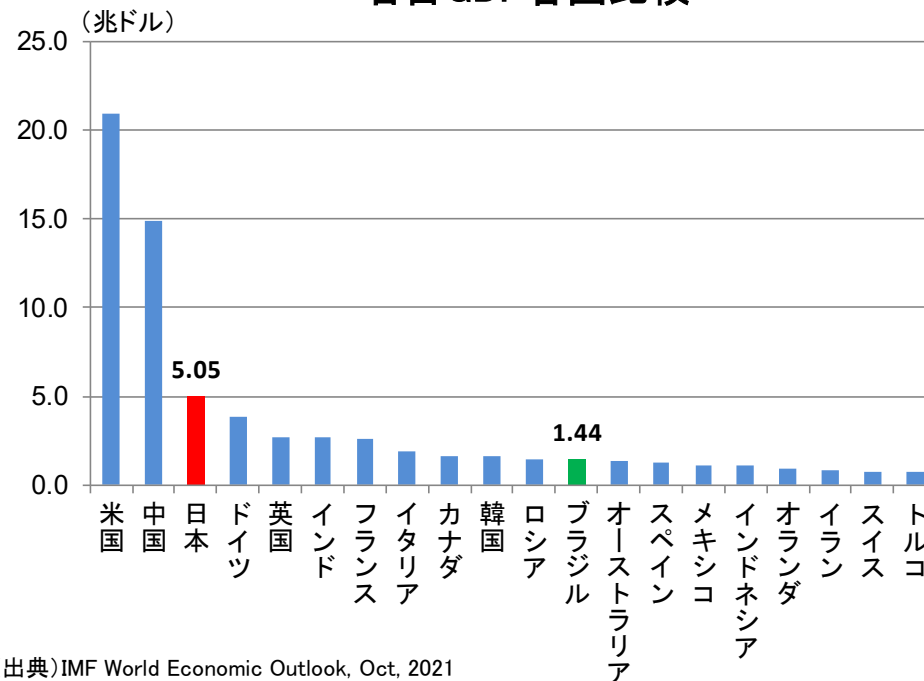
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

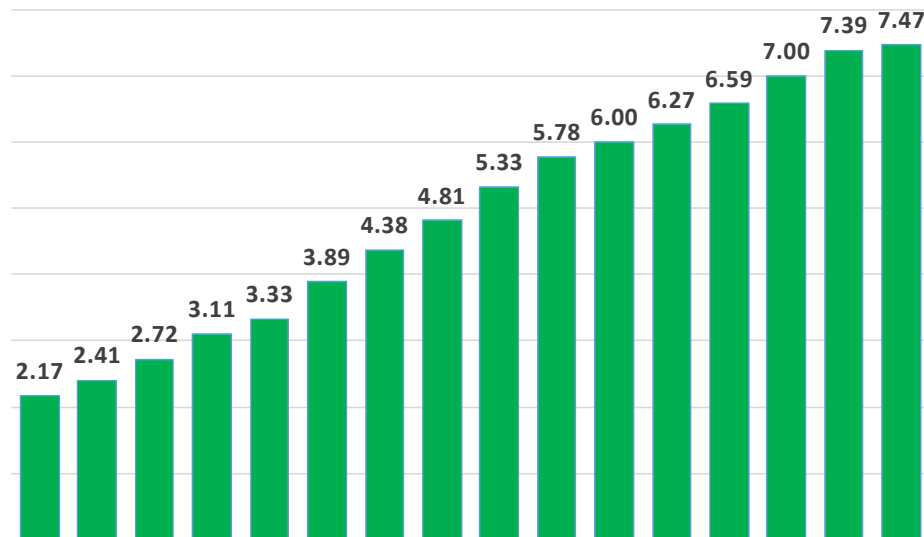
1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²(2020年)
2. 世界第12位の経済規模(名目GDP約1兆4,447億ドル(2020年):日本の約29%)。一人当たりGDP(約6,823ドル(2020年))は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較



名目GDPの推移

(兆リアル)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2020年)

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

